

■ 農作物の生育状況と今後の対策等（6月）

令和5年6月15日
三八地域県民局地域農林水産部
農業普及振興室

I 土地利用型作物

1 水稲

(1) 作業進捗状況

管内の田植え最盛期は5月21日で平年より1日早かった。

	田植え		
	本年	平年	平年差
始 め（進捗率5%）	5/14	5/16	早2日
最盛期（進捗率50%）	5/21	5/22	早1日
終わり（進捗率95%）	5/30	5/29	遅1日

(2) 本田の生育状況

代枯れや葉先枯れが見られたほ場においても、活着後は回復傾向にあり、全体的に生育は順調に進んでいる。

(3) 今後の対策・指導等

①天候に合わせて適正な水管理をする。

（浅水管理による分けつ促進、高温時に適宜水の入れ換え、適期の中干し）

②除草剤を適期かつ適正に散布する。（後発のヒエ及び広葉・多年生雑草の対策）

③農作業履歴の記帳をする。（特に使用農薬の記録）

2 小麦

(1) 生育の状況

生育観測ほの出穂期は5月14日、開花期は5月22日で、出穂期は平年より4日早く、開花期は3日早かった。

6月9日の調査では、稈長は71.8cm、穂長は7.3cmでともに平年より短く、m²当たり穂数は383本で平年より少ない。

生育観測ほの出穂後の積算温度による予想刈取適期（830～950℃）は、7月3日～7月7日の見込みである（6月9日現在）。

表1 生育観測ほ生育状況（6月9日調査）

調査地：八戸市 市川

年次	は種日	稈長(cm)	穂長(cm)	穂数 (本/m ²)	出穂期	開花期
本年	10月2日	71.8	7.3	383	5月14日	5月22日
前年	10月7日	80.0	8.7	415	5月19日	5月25日
平年*	9月29日	78.3	8.4	449	5月18日	5月25日

※平年は、H28～R4年の平均値

(2) 今後の対策・指導等

品質が低下しないよう適期に刈取りを行う。

3 大豆

(1) 作業進捗状況

- ①八戸市 市川地区大豆転作営農組合 約22ha
播種は6月8日に終了した。
- ②五戸町 農事組合法人くらいし 約16ha
播種は6月10日に終了した。

II 野菜

1 ながいも

(1) 生育、作業の状況

生育観測ほの植付けは、平年より9日早い5月2日に行われた。6月9日現在、萌芽していない状況となっている。

植え付け作業は、ほぼ終了を迎えている。

(2) 今後の対策・指導等

- ①ほ場周辺の明きょなど排水対策を実施する
- ②支柱立て・ネット張り作業を順次行う。
- ③種いもほ場を中心に、アブラムシ類の防除を徹底する。

2 ねぎ

(1) 生育の状況

生育観測ほの生育は、草丈60.9cm(平年比87%)、茎径16.0mm(平年比101%)となっている。

病害虫はほとんど見られない。

一般ほ場の生育は概ね順調である。

表2 県生観ほ生育状況（6月9日現在）

調査地：八戸市是川

年 度	定 植 期					6月10日現在	
	品 種 名	は種期	育苗 状況	定植期	活着 状況	草丈 (cm)	茎径 (mm)
		(月日)		(月日)			
本 年	夏扇パワー	11/26	良	3/19	良	60.9	16.0
(平年比)		-42	—	-7	—	87%	101%
平 年	夏扇パワー	1/7	—	3/26	—	70.1	15.9
前 年	夏扇パワー	11/26	良	3/26	良	71.7	15.9

※ 平年（H15～R4）

(2) 今後の対策・指導等

- ①今後、べと病や葉枯病などの病害、ネギアザミウマなどの害虫が発生しやすい時期を迎えるので、予防防除を徹底する。
- ②培土は、太さを確認しながら、高温の時間帯を避け、早朝に実施する。

3 にんにく

(1) 生育の状況

6月9日現在の県及び地区生育観測ほの生育は、地上部では草丈は概ね平年並みであるが、生葉数は五戸、旧倉石が下葉の枯れにより平年より大幅に少なくなっている。地下部は、球径・球重ともに平年を大幅に上回るが、いずれのほ場も尻止まりにバラツキが見られる。

病害は、さび病の発生が多く、春腐病、黄斑病、葉枯病も見られており、一部ほ場ではさび病及び黄斑病が多発している。虫害はほとんど見られない。

りん片分化期後の積算気温による収穫予測は、平年より7～10日程度早まると見込まれる。一般で、収穫が始まったほ場もみられる。

(2) 今後の対策・指導等

- ①病害虫の発生が認められるほ場では、収穫期が迫っているため、収穫前日数、総使用回数に十分注意しながら、早期の枯れ上りを防止する。
- ②ほ場ごとに必ず試し掘りを行い、適期に収穫する。
- ③収穫前に乾燥設備を点検するとともに、温度、通風、換気の3つのポイントをおさえて、しっかりと乾燥させてから、種子用と販売用に分けて保管する。

表3 生育観測ほ調査結果（6月9日：20株調査、球重・球径は4株調査）

調査地点	マルチ	年次	品種系統	植付日	りん片 分化期	草丈	生葉数	茎径	球径	球重
						(cm)	(枚)	(mm)	(mm)	(g)
五戸 (上兎内)	グリーン	本年	白玉王	10月1日	4月9日	84.1	7.9	20.9	68.7	117.5
	—	平年比	/	—	11日早い	98%	90%	99%	113%	127%
	—	平年	/	9月29日	4月20日	85.5	8.8	21.2	61.0	92.8
	グリーン	前年	白玉王	9月28日	4月17日	82.5	8.0	20.5	68.3	124.3
旧倉石 (又重)	グリーン	本年	在来種	9月28日	4月10日	84.9	6.6	18.1	63.4	106.0
	—	平年比	/	—	11日早い	101%	80%	92%	105%	124%
	—	平年	/	10月1日	4月21日	84.3	8.2	19.6	60.5	85.6
	グリーン	前年	在来種	9月28日	4月18日	82.4	8.7	18.8	71.3	138.3
新郷 (扇ノ沢)	グリーン無穴	本年	福地ホワイト	10月6日	4月11日	86.7	8.1	21.0	63.7	99.5
	—	平年比	/	—	10日早い	106%	100%	108%	109%	125%
	—	平年	/	10月4日	4月21日	81.5	8.1	19.4	58.5	79.3
	グリーン無穴	前年	在来種	9月30日	4月19日	82.1	8.9	20.0	64.5	101.7
田子 (日ノ沢)	グリーン	本年	白玉王	10月2日	4月10日	85.6	8.3	19.5	64.3	104.2
	—	平年比	/	—	12日早い	103%	98%	101%	113%	134%
	—	平年	/	10月6日	4月22日	82.8	8.5	19.4	57.0	77.9
	グリーン	前年	白玉王	9月28日	4月19日	84.1	8.4	20.2	64.9	95.8

注) 平年値について

五戸：H13年～R4年までの過去22年間の平均値（参考値：R3から調査地点変更）

旧倉石：H16年～R4年までの過去19年間の平均値

新郷：H16年～R4年までの過去19年間の平均値

田子：H14年～R4年までの過去21年間の平均値（黒マルチの2年は除く）

表4 生育観測ほ病害発生程度調査結果（6月9日）

場所	春腐病	さび病	葉枯・ 黄斑病	欠株
五戸	11%	98%	34%	2%
旧倉石	0%	100%	4%	0%
新郷	5%	6%	0%	2%
田子	2%	83%	1%	2%

4 トマト

(1) 生育の状況

生育観測ほの定植期は、平年より4日早い5月10日で、平年より4日早かった。定植前から地温の確保に努めた結果、定植後の活着は良好であった。

第1花房の着果節位は5.6節となり、過去5か年平均（8.5節）に比べてかなり低かった。1段目の開花期は、5月17日で、平年より10日早く、現在は2段目の開花中である。ほ場の一部で果実の尻部に灰色かび病の発生が見られる。

一般ほ場でも、5月第2～第3半旬は平均気温が平年を下回ったものの、適切

な保温対策により、定植後の活着及び初期生育は概ね良好であった。

表5 県生観ほ生育状況

調査地：三戸町斗内

年度	品種名	定植期 (月日)	育苗・活着	1段花房	
				開花期(月日)	着果数(個)
本年 (平年比)	りんか409 (自根)	5/10 (4日早)	良好	5/17 (10日早い)	4.3 (113%)
平年	りんか409	5/14		5/27	3.8
前年	りんか409	5/10	良好	5/24	4.2

(2) 今後の対策・指導等

- ①樹勢や天候に応じたかん水や、追肥を実施する。
- ②高温や湿度が高い時は換気を実施する。
- ③定期的な病害虫防除を実施する。